

2025年5月号

ニュースレター

Ange



卒業生との再会

ゴールデンウィークの5月3日に、卒業生が東京から遊びに来てくれました。彼は21歳、中学生になる時に東京に引っ越しました。今回は家族旅行で神戸に行く前に、伊丹空港から1人でAngeに遊びに来てくれました。事前に本人から訪問の連絡があり、私も久しぶり（中学3年生ぶり）に会えることを楽しみにしていました。来訪する日は土曜日クラスのボウリングの日。時間が間に合えば一緒にボウリングをと考えていました。

Angeの子どもたちとボウリング場に向けて歩いていると、後ろからスタッフとジャケットを着たサラリーマン風の人が歩いてくるな～と思うと、なんとそのサラリーマン風が彼でした！ぽっちゃりしていた体格がスラッとスリムになっていて、ジャケットを羽織った姿にとても昔の面影はなく、好青年になっていてびっくりしました。

ボウリング場に到着して一緒にしようと誘うと、遠慮して「いえ、僕は見るだけで大丈夫です」と、大人っぽい返事をしてくれましたが、せっかく来たのに見ているだけということなので、一緒にすることになりました。

小学生の時は少しでもできなければ口を尖らせて、「できないよ～」と拗ねて、すぐに諦めていた彼でしたから、やりたくないのかな？と思っていました。しかし、そんな心配はなんのその！ガーターは一度もなく、投げ方のアドバイスをするとその通りにボールをコントロールして投げられている彼に、ものすごく成長を感じました。投球順が滑り台を使って投げる子の次でしたが、その子が終わるとサッと滑り台を片付け、自分の準備をしています。また自分の番までは、他の投球者の姿を見てイメージトレーニングをしていました。彼がストライクを出すと大喜びする私たちとは正反対に、とても控えめに喜んでいる彼。何もかもが大人っぽくなりすぎていました。帰り道では「この体育館、よく遊びに来ましたね。このコンビニも覚えています」と、丁寧な言葉で語ってくれました。そのほかにも、憧れている友達の後ろをついて歩き、一緒にいたずらをして注意されること。みんなでキャンプに行ったことなどなど…。

小学生の頃は身体の動かし方がぎこちなく、何をしても鈍臭く、筆圧も弱く、イメージした絵が描けずに涙目になったり、理由をつけて描くことを拒否したり、自分から何かをするタイプの子ではありませんでした。そんな彼が高校生ではラグビー部に入り、今でも手の甲にアザが残るくらいタックルの練習をしたことを話してくれました。嫌なことから逃げ、困ったことがあるとすぐに泣いていた彼が、自分であえてしんどい部活を選び、3年間やり切ったと聞いた時は驚きと共に、家族や仲間を支えられて素敵な学生時代を送ったのだらうと思い、とても感慨深くなりました。

彼が通ったのは小学生の6年間だけでしたが、訪問してくれたことで、友だちや支援者といっばい遊び、楽しい思い出が詰まった場所になっていたのだと感ずることができました。また来ますと、約束して別れた彼。今度会う時はどんなふうになっているのか、今からとても楽しみです。

私たちも、卒業した青年たちが仲間や支援者と【過去に戻れる場所】として、また保護者の皆さんにとっては【いつでも頼れる場所】でありたいと思います。

郡 奈美



卒業生と郡の2ショット（ジブリ風）

研修実施予定！申し込み受付中！

6/5(木)

対応が難しい子どもの集団作り

講師：池添 素氏

(NPO 法人福祉広場 理事長)

申し込みQR



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。オンデマンド配信あり！

■場所：Ange 事業所 ■時間：AM10:00～ ■参加費：徳洋福祉会利用者500円・外部の方1000円/1名

■申し込み・お問合せ：TEL(06) 6151-2996 Mail: kori@tokuyo.me 担当：郡

ゆか先生！自己紹介
おねがいしま～す！

新しいスタッフの紹介

2月からAngeで働いています、楠本由佳（くすもと ゆか）です。

子どもたちの成長に少しでも関われたら嬉しいなと思い、この仕事を始めました。毎日、子どもたちの笑顔や日々の変化に元気をもらいながら、楽しく過ごしています！まだまだ勉強中のことも多いですが、これからどうぞよろしくお願いいたします。



ありがとうの日

～かぞくのみんないつもありがとう～

今年は母の日・父の日にちなみ、家族にありがとうを伝える日として、中着の染めをしました。

赤青黄の3色から自分で好きな色を選び、縦横斜めどのように染めるかスタッフと一緒に考えて染めていきます。玄関前の屋外で制作をしましたが、普段制作は部屋で行うので、今からなにがはじまるのだろうとドキドキしながら待つ子どもたち。（中には「公園！公園！」と言っていた子もいました（笑））初めは「しない！」と言っていた子も、きれいに染まった見本の中着や他の子たちが染めている様子を見ると、自分から進んで染めに参加していました。どの子どもとっても素敵に染まりました。完成次第、家庭にお届けしますので、お楽しみに！！

「障がいのある子の
親なきあとのお金の話」開催しました。

昨年度の研修後に受けてみたいとリクエストがあり、5月8日に「障がいのある子の親なきあとのお金の話」の研修会を行いました。

会場とZoomで参加者25名と多くの方が参加してくださりました。

研修後のアンケートでは、「未成年の間にできることはやっておかないとダメだ」という気持ちと、たくさん残すと国に取られてしまうのは納得いかないです。知らなかったでは損するのでできるだけ多くの情報を入れていきたい」「子どもにとってどの方法がいいのか、今からしっかり考え、学んで、相談し決めていきたい」と思います。」などたくさんの感想をいただきました。

「親なきあと」はまだまだ先の事と思ってしまうかもしれませんが、いつ何が起こるか分からないからこそ、日頃から情報収集し、どうしたら子どもにとって最善なのかを考え行動していかないといけないと感じました。早く動き出す方がいいと思いますので、少しずつ準備してみたいかがでしょうか。

